

2018-2019 ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 6



BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう

国際ロータリー第2510地区 2018～2019年度 ガバナー 小 山 司

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>

2018-2019年度国際ロータリーのテーマ
「インスピレーションになろう」



国際ロータリー第2510地区
2018-2019年度地区目標

——— 持続可能な絶え間なき変革のスタート ———

1. 組織を活性化しよう
 - (1) 会員の維持、増加の推進
 - (2) 女性会員の増強
 - (3) クラブ役員、地区委員への若手登用の推進
2. ロータリーの認識・理解を深めよう
 - (1) 会員研修の充実・強化
 - (2) クラブ相互間、グループ相互間等のコミュニケーションの活発化
 - (3) ガバナー月信の内容充実、電子化の推進
3. 地域社会との関わり合いを深めよう
 - (1) 人道的奉仕活動の推進、ロータリー財団補助金の活用
 - (2) 青少年活動の支援・強化、地域社会との連携
 - (3) 広聴活動の推進

CONTENTS

●ガバナーメッセージ	1	●米山奨学生のご紹介/米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付	10
●札幌東RC創立60周年記念式典報告	2	●ハイライトよねやま	11
●深川IRC創立60周年記念式典報告	3	●ロータリーコーディネーターNEWS	12
●洞爺湖RC創立50周年記念式典報告	4	●財団室NEWS 6月号	13
●岩見沢RC創立65周年記念式典報告	5	●大切な奉仕理念	14
●第27回長沼国際交流フェスティバル並びに新世代交流会	6	●ガバナー事務所メールアドレス変更のお知らせ/ 新事務所住所の訂正のお知らせ/地区カレンダー(6月)	15
●Challenge & Opportunités 2018-19	7	●出席率・会員数	16
●新会員のご紹介/訃報	9		



今後のロータリーに期待すること その6 (最終回) — 青少年奉仕月間にあたって —

国際ロータリー第2510地区

2018-2019年度ガバナー **小 山 司**
(札幌RC)

2018-2019年度もいよいよ最後の月を迎えました。ガバナーとしての責務、各クラブに対する地区としての使命など、これから始まる未知の展開に対する期待と不安の中でのスタートでしたが、私はこの一年をただただ夢中で過ごした気がします。それは各クラブへの公式訪問などでいただいた感動の連続で自分を顧みる暇がなかったからでしょう。何かと細やかで温かい激励とアドバイスを頂いたパストガバナーの皆様、親切にご援助を賜ったガバナー補佐、そして各委員長を始め地区委員の皆様、さらには代表幹事を始めとする地区スタッフ並びにロータリークラブ会員の皆様、本当に多くの人々に支えられ本年度を終えられそうです。心からなる感謝を申し上げます。

残された一か月、心を込めて丁寧に務めを果たしていきたいと思います。すでに次年度体制がスタートの準備を整え、本年度の会長・幹事の皆様も安堵のお気持ちでおられることと思いますが、年度の総まとめ、次年度への引継ぎ、次年度役員に対するお手伝いなど、今一つのご尽力をお願い致します。

さて、6月はロータリー親睦活動月間です。「ロータリー親睦活動」はロータリアン同士の親睦を深めるためのRIの国際奉仕部門の正式プログラムとなっています。現在でも、クラブ内の親睦活動と混同されている向きもあることから若干の説明をさせていただきます。一言で言えば、世界的な同好会活動といったところでしょうか。ロータリー親睦活動グループは、共通の趣味、関心事項、スポーツ、職業を持つロータリー会員の集まりです。自分と同じ職業を持つ人々との交流を通じて、職業能力を向上させます。世界中で新しい友人を作り、奉仕の機会を探求し、ロータリーでの経験をさらに充実したものとします。同じ趣味や情熱を持つ世界中の仲間たちと交流でき、ロータリアンだけではなく、ロータリアンの家族、ロータリー学友なども参加することができます。

現在、約100近い親睦活動グループがRIに登録されています。国内でよく知られているものには、囲碁の親睦活動グループやゴルフの国際親睦活動グループ、アマチュア無線ロータリアンの国際親睦グループなどがあります。その他、親睦活動グループは、医者や弁護士などの職業を中心にしたグループからクリケット、ジャズといった趣味や関心まで

実に多岐にわたります。また、親睦だけを目的としたグループもあれば、奉仕プロジェクトを実施しているグループもあります。是非、積極的に世界のロータリアンと親睦活動を通じて、友人を増やしてみたいかたがでしょうか。

ところで、日本では伝統的に、ロータリーの原点は「親睦と奉仕」だと言われてきました。もちろん、「親睦と奉仕」がロータリーライフを支える二本の大きい柱であることは疑いのない事実であり、親睦が失われればクラブは崩壊し、もはや奉仕活動どころでなくなってしまいます。本年度のスタートの7月号月信のガバナーメッセージで松尾芭蕉の「不易流行」を引用し、「不易の理を忘れずして、流行の変を渉る」と読み換え、ロータリーの「不易」に「親睦と奉仕」を当て、両者を車の両輪としてそのバランスを強調させていただきました。ポール・ハリスの著書(My Road To Rotary)の中に述べられていることですが、ロータリー創設の原点は本当に心から何でも話し合える友人を作ることであり、言い換えれば、会員同士の友情にあったのだと言えます。実際、1906年のシカゴロータリークラブの定款には、クラブの目的に、会員の事業場の利益の促進(互惠取引)と親睦があったのは事実です。しかし、その後の様々な議論の末に、奉仕理念を学びそれを実践する組織へと大きく生まれ変わっていきました。その結果、ロータリーの定款の目的から「親睦」は削除され、現在は、僅かにクラブの小委員会の名称として親睦委員会にその痕跡を残すのみとなっています。

ロータリーで言う親睦は、英語ではフェロウシップ(Fellowship)となっています。日本語で「親睦」と言えば、宴会やゴルフや旅行など親睦活動をさすことが多いのですが、辞書によれば、フェロウシップは、「共に行動することで生まれる友情の感情、仲間意識、連帯感」という意味になります。つまり、ロータリーの親睦とは、ロータリー運動を志す仲間の連帯、友情ということになります。そしてロータリーとは、この親睦が根底にあり、前提条件になっているのです。さらに、その親睦を深める手段としてロータリアン同士の様々な親睦活動があるのです。親睦の本来の意味を確認し、実効性のある具体的な親睦活動のベストプラクティスの追求こそが今後の地区の重要な課題だと思います。この論考は最終号で再度取り上げさせていただきます。



札幌東RC創立 60周年記念式典報告

札幌東RC

幹事 田中誠人

2019年3月14日木曜日、札幌パークホテルに於きまして、創立60周年記念講演「公開セミナー」、記念式典及び祝賀会が開催されました。当日は小山ガバナーご夫妻、福井ガバナーノミニ、岸光右札幌市副市長、パストガバナーの皆様はじめ地区役員の皆様、市内各クラブの会長・幹事、多くのロータリアンの皆様、ロータリー家族の皆様、北海道ろう者サッカー協会はじめ各団体と関係者、多くの皆様に当クラブの60周年記念式典にご列席いただきまして、誠にありがとうございました。

札幌東ロータリークラブは、1959年3月14日に発足し、本年度創立60周年を迎える歴史と伝統のあるクラブです。

60年前の1959年、札幌南ロータリークラブのご指導をいただき札幌市内3番目のクラブとして、25名の創立会員によって2月19日に設立総会が行われました。そして3月14日は国際ロータリーへの正式な加盟が認められた記念すべき日です。



記念講演「公開セミナー」第I部の基調講演では、中途失聴者である松森果林さんをお招きして、ご自分のこれまでのご経験を踏まえながら、「聞こえる世界から聞こえない世界へ、そして共に生きる社会へ」と題し、両方の世界を知るお立場からご講演頂きました。そして第II部では、テレビドラ



マ「君の手がささやいている」で聴覚障害の主人公の旦那さん役を演じた武田真治さんにも対談に御参加頂きました。最後は会場の皆様方と共に筋肉体操を行い、会場は大変盛り上がりしました。

記念式典では、小山ガバナー、岸副市長にご祝辞を頂き、表彰、感謝状・記念品贈呈が行われ、祝賀会では、札幌東ロータリークラブ音楽同好会「イーストクワイア」による男性合唱が披露されました。

60周年記念事業報告では、今年度新規事業として昨年11月4日に開催致しました、ろう者との交流フットサル教室をはじめ、月寒川にぎわい川まつり、記念ゴルフ大会、社会福祉法人札幌緑花会 花園学院訪問等のスライド上映を行いました。

最後はロータリーソング「手に手つないで」で会場が一つになり終始和やかな雰囲気祝賀会を執り行うことができました。

これからも、札幌東ロータリークラブは、5月に予定しております新規事業「車いすカーリング大会」を含め、今まで以上に奉仕活動に積極的に参画し、地域又国際交流に貢献できるよう活動して参ります。今後ともご支援、ご協力を何卒宜しくお願い致します。





深川RC創立 60周年記念式典報告

深川RC

会長 **大西 祥太**

平成31年4月20日プラザホテル板倉にて、地区より小山ガバナー・細川パストガバナー・福田ガバナーエレクト・対馬ガバナー補佐・出村財団奨学金委員長・スポンサークラブのRI2500地区旭川RC鎌田会長をはじめ、第一グループ留萌RC・羽幌RC・妹背牛RCの会員、第二グループ滝川RC・砂川RC役員・友好姉妹クラブRI第3590地区韓国南海RC李会長会員10名、合わせて113名の参加を得て、村中俊二実行委員長のもと午後1時30分より記念式典が始まりました。

はじめに物故会員への黙祷、次に村中実行委員長式辞、この記念式典に併せ姉妹クラブであります韓国南海RC・深川RC姉妹結縁45周年第15回調印式を行い、会長挨拶、小山ガバナー・山下深川市長・李韓国南海RC会長の祝辞、表彰としてスポンサークラブRI2500地区旭川RC鎌田会長・2008年度-2018

年度歴代会長・幹事、20年・30年以上100%永年出席会員の表彰、そして創立60周年を記念し、地域包括ケアシステムの訪問医療・介護に活用していただく一般車両を深川市に寄贈、その旨を成田記念事業委員長より報告説明、深川市長に贈呈し、点鐘をもって記念式典を終了いたしました。

午後2時20分に創立60周年記念祝賀会が始まり、成田副実行委員長より歓迎の挨拶があり、長野深川市議会議長の祝杯後、余興として地元第49回江差追分全国大会優勝瀧本豊壽氏の民謡の他、ソプラノソロリスト菊入三恵氏の歌謡を披露していただきました。韓国南海RC李会長会員10名の皆さん、米山奨学生イヤス・シリア・マリアさん、よねやま親善大使李英愛さん参加のもと、国際色豊かに和気あいあいと午後4時まで楽しくお祝いをさせていただきました。



洞爺湖RC創立50周年記念式典報告

洞爺湖RC

創立50周年記念事業実行委員長 **新田 裕 基**

平成最後の月、春爛漫の4月21日午前11時、洞爺湖万世閣ホテルレイクサイドテラスの記念式典会場にて、吉田会長の点鐘を合図に創立50周年記念式典・祝賀会がスタートしました。小山ガバナーをはじめ多くのご来賓の方々、ご参集いただいた第9グループロータリアン各位、他大勢の皆様の祝福の中、式典は厳かにまた華やかに繰り広げられました。

三浦幹事の司会のもと、国歌斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱の後、会長挨拶、ご来賓のお祝辞を頂戴し、感謝状贈呈、会員功労者表彰と式典が進んでいきました。

今回、節目の年ということで、洞爺湖町内5つの小中学校に30万円相当の図書贈呈、本町地区海岸通りに観光用ベンチを寄贈させていただきました。またロータリー財団への記念寄付金贈呈目録の発表が合わせて行われました。

洞爺湖ロータリークラブは伊達ロータリークラブをスポンサーに1963年2月に発足しましたが有珠山の2度の噴火、また人口減少等により会員数も激減し、現在までその状況が続いています。そのような中、この度50周年を迎えることができましたのは偏にロータリアンの温かい友情に支えられてのことと会員一同深く感謝しつつ、次の50年に向けて洞爺湖ロータリークラブの新たな一歩を、力強く踏み出したところです。これまでも地域に根ざした奉仕活動を合言葉に、全国からのウォーキング愛好家が集まる「北海道ツーデーマーチ」では地元野菜の蒸し焼きを提

供したり、桜の植樹に協力したり、児童生徒の読書を奨励するための感想画コンクールの協賛など地道に活動を続けてきております。ミニクラブではありますが、これからも行動するどおりと辛い「山椒の実クラブ」でありたいと願っています。

---閑話休題---

式典は予定の時間より早めに閉会となり、ご列席の皆様には同じホテル内の祝賀会別会場へと足を運んでいただきました。

第2部の祝賀会は、洞爺湖が一望できるガラス張りの会場で第1部の式典とは趣をガラリと替え、賑やかに始まりました。遠藤パストガバナーのご発声による「乾杯」のご唱和のあと、自慢の料理とオカリナ演奏、琴演奏のミニライブを楽しんで(?)いただきました。この日は快晴で洞爺湖に浮かぶ中島、遠くに雪化粧の羊蹄山の美しさが際立ち、ご列席の皆様もご満足いただけたのではないかと思います。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、午後3時、第9グループ齋藤ガバナー補佐の中締めご挨拶をもって閉宴となりました。最後は全員手をつなぎロータリーソング「手に手つないで」を斉唱しお開きとなりました。

現在、洞爺湖ロータリークラブは新しい会員が多く、奉仕活動の「いろは」をベテラン会員共々勉強しているところです。どうか新生洞爺湖ロータリークラブに皆様のこれまで通りの変わらぬご支援をお願いします。





岩見沢RC創立 65周年記念式典報告

岩見沢RC

幹事 **江本勝典**

前代未聞、二ヶ月連続の祝賀会。

当クラブは昭和29年5月5日仮発会式を行い同年6月1日に札幌ロータリークラブをスポンサーとして国際ロータリーより加盟承認を受けました。翌年5月9日チャーターナイトを開催しメンバー数は20名でした。歴代3名の地区ガバナーと9名のガバナー補佐を輩出している歴史と伝統のあるクラブです。

この度65周年を迎えるにあたり、65周年記念式典の日取りを色々考えましたが、チャーターナイトが行われた5月9日に実施するのが一番相応しいということになり、令和元年5月9日(木)に決定し準備を進めて参りました。誕生したのが5月5日、一年後のチャーターナイトが5月9日ということで、岩見沢においては桜が満開から散る時期に重なるため、桜が舞い散る季節を迎える度に、当クラブの歴史の1ページが増えていくという構成のオープニングビデオを制作し披露しました。

式典当日は、小山ガバナー、福田ガバナーエレクト、福井ガバナーノミニーをはじめとして、パストガバナー7名、スポンサークラブの札幌ロータリークラブ古野会長、第3グループから福井ガバナー補佐、泉亭補佐幹事、各クラブの会長、幹事をはじめ大勢の方々にご臨席を賜りました。

当クラブが昨年度より取り組んできて、平成31年1月17日にRIより認可を戴いた衛星クラブの認可祝賀会が、僅か一ヶ月前の4月6日に行われたばかりで、前代未聞の二ヶ月連続祝賀会となり、来賓の皆様には御出費が重なりましたことを大変心苦しく思う一方で、ご多用の折に、重ねて出席戴き本当に心から感謝をいたしております。



さて、本式典は65年間の歴史を振り返ると共に、30年ぶりに地区ガバナーに就任した嵯峨パストガバナーと当クラブの歴史を紡いだ第60代から64代会長・幹事に感謝の気持ちを伝えさせて頂きました。

不思議なことに65周年を迎え、メンバーの平均年齢も65歳となっております。このままだと当分の間、クラブの歴史と平均年齢が一致することになるやと思いきや、ネクスト衛星クラブが加わったことにより2歳引き下げられました。

冒頭では「歴史と伝統」を述べさせて戴きましたが、本年度会長方針は「持続可能な変革へ、進化するロータリー」です。これは、小山ガバナーの「持続可能な絶え間なき変革のスタート」及び、ポール・ハリスの「運命を切り拓くには、常に進化し時には革命的に」の二つの言葉を意識させて戴いたものです。

「歴史と伝統」に対して「変革と進化」は相反する言葉となりますが、これからも歴史を重ねゆくために、進化することは必然と考えます。この式典を機に皆様と共に持続可能な進化を遂げていけるよう、次年度に引き継ぎたいと思います。



第27回長沼国際交流フェスティバル 並びに 新世代交流会

長沼RC

青少年奉仕委員長 **清水 慧子**

世界の青少年の集い長沼国際交流フェスティバルも27回目を迎え、大勢の人のご協力のもと盛大に開催されました。

地元高校のブラスバンド、ベトナムの米山奨学生の歌、参加子ども達とのダンス、英語での高校生の司会、中学生のウェルカムスピーチも雰囲気盛り上げました。交換留学生、米山奨学生など約40名、町内外の高校生から幼児まで約250名が参加しました。中国、韓国、台湾、香港、フィンランド、オーストラリアなど13ヶ国が参加し、国別ブースを巡ってその国の言葉で挨拶をし、スタンプを集めるスタンプラリーを楽しみました。高校茶道部による呈茶、恒例の餅つきはいつも人気です。

お忙しい中ご参加頂いた小山ガバナーならびに令夫人に心から御礼と感謝を申し上げます。特にガバナーはお餅つきにも参加して頂き、子ども達から大きな拍手と声援をもらっていました。今や長沼町の春の行事に定着し、このフェスティバルに参加し、海外に関心を持ち、ロータリーの交換留学生として巣立った子ども達も何人かいます。ガバナーをはじめ、長沼町、教育委員会、さらに参加学生を送り迎えて頂いたロータリアンの大きなお力添えの賜物と深く感謝しております。フェスティバルに参加ご協力頂いた各ロータリアンならびに関係者の皆様様に、再度心より御礼申し上げます。

フェスティバル終了後、留学生と地元高校生の交流会が行われました。司会・進行・企画等は全て長沼高校の生徒にお任せし、外国の方々と素朴な疑問や生活習慣の違い、学校生活について、日本に来て感動した出

来事、嫌な経験等々感じるままに座談してもらい、最後に高校生に発表してもらいました。

今年のテーマは、「各国の今のトレンドは？」で、主に食べ物にそった話し合いがなされ、1時間足らずで何ヶ国も旅したような気分を味わうことが出来ました。

小山ガバナーご夫妻も、最後までテーブルに入ってください、大変嬉しく思いました。心から感謝と御礼を申し上げます。

長沼ロータリークラブが開催している新世代交流会は、元々新世代委員会と称して、フェスティバルとは別に8年間高校生を、途中から中学生も交えて、交換留学生や、ある時には米山奨学生に参加して頂き、色々なテーマで話し合いの場を設けてきました。現在では、国際交流フェスティバルとつなげて、同日に開催しています。次代を担う青少年の意見を尊重し、あくまでも若者が自由に意見を述べられる場を提供し、新しい時代を切り拓くきっかけにしてもらいたいと望んでいます。これからも長沼ロータリークラブの活動として、国際交流フェスティバルと新世代交流会を継続していきたいと考えております。



Challenge & Opportunites 2018-19

最終回の今回は滝川ロータリークラブの「ファミリーコンサート」、及び江差ロータリークラブが30年前から職業奉仕活動の一環として取り組んで来た、地元発の世界に誇る文化の維持、継承活動をご紹介します。

滝川ロータリークラブでは市民の皆さんとの交流を深めるために、地域の皆さんが御家族で楽しんでいただけるコンサートを企画、主催しています。今年もとても素敵なコンサートになったようです。

江差ロータリークラブでは地元の文化、伝統を伝えている人達を支え、さらなる発展をサポートする活動を行っています。地元に対する深い愛情を感じることが出来る活動です。御一読下さい。

4月号から3カ月にわたりまして地区内クラブの新しい取り組みを紹介させていただきました。いずれも小山司ガバナーが公式訪問の際に感銘され、ぜひとも他クラブにも今後の活動計画を立案する上で参考にしたい、と望まれているプロジェクトです。

今回の特集に寄稿して下さいました各クラブに感謝申し上げますとともに、プロジェクトのますますの発展を祈念いたします。



滝川ロータリークラブ主催 ファミリーコンサート開催報告

滝川RC
幹事 畠山 かおる

子どもを連れて楽しむ音楽鑑賞が希少である滝川市の現状において、家族連れで楽しみながら芸術に触れる機会を作りたいという思いから、昨年度より社会奉仕事業の一環として、滝川文化センター大ホールにて、『ファミリーコンサート』を行っています。

当日は、隣の「滝川文化公園」にて開催された雪まつりの流れもあり、多くの家族連れの市民にご来場いただき、会場はほぼ満員となりました。13時半からの第1部は、全道大会金賞の実績もある市民吹奏楽団である、滝川吹奏楽団による子ども向けの楽しい楽曲で幕を開けました。「アンパンマンのマーチ」、「となりのトトロ」といった耳なじみの曲に加え、手話の身振り手振りも加わった楽曲も演奏され、会場の子どもたちが身体を動かしながら、会場入口でプレゼントされたディズニーペンライトを振って、楽しそうに演奏に聞き入っていました。

第2部では、国際奉仕活動の一環として、滝川市立図書館、滝川国際交流協会の共催により、滝川国際交流協会員のラブ・ライアン氏(アメリカ)、ホン・レジナ氏(シンガポール)、エンフバヤル・ソロンゴ氏(モンゴル)による「おおきなかぶ」の寸劇が行われました。なかなか抜けないかぶを抜くのに滝川ロータリークラブ会長を始め数人の会員も登壇

し、「うんとこしょ、どっこいしょ」の掛け声を日本語・英語・中国語・モンゴル語バージョンを順番にみんなで叫びます。それでも抜けないので、今度は会場の子どもたちに応援を頼みます。するとホールにいた子どもたちほぼ全員がステージに上がり、世界の言語で掛け声を合わせながらかぶ抜きをしてくれました。やっと抜けたかぶにみんな大喜びとなり、楽しい雰囲気第2部が終了しました。

第3部は、音楽家で田村正和さんの物まねで有名な「田村まさか」さんによるトークとピアノ、オカリナステージ。しっとりとしたピアノ演奏もさることながら、圧巻だったのはオカリナでの「情熱大陸」でした。会場も一体となって大いに盛り上がり、第3部のラストは滝川吹奏楽団による大人向け楽曲の演奏。なんと「舟歌」「越冬つばめ」「夜桜お七」と吹奏楽では珍しい、演歌の演奏という嬉しい不意打ちでシニア世代も唸る素晴らしいステージでした。

このような盛りだくさんの内容で、大盛況のうちにファミリーコンサートが終了いたしました。このコンサートを開催するにあたり、ご尽力くださいました滝川吹奏楽団様、滝川文化センター様をはじめ、多くの方々に、この場をお借りいたしましたして厚く御礼申し上げます。





江差ロータリークラブ 「職業奉仕活動」の紹介

江差RC

2018-2019会長 **隅田秀男**

「かもめのなく音(ね)にふと目をさまし あれが蝦夷地(えぞち)の山かいな〜」。

「江差ロータリークラブ」は民謡の王様と呼ばれる江差追分で有名な江差町を中心に活動しています。今年3月に道教委から道指定無形民俗文化財に指定を受けた「姥神大神宮渡御祭(うばがみだいじんぐうとぎよさい)」は370年以上の歴史があるといわれます。毎年8月に3日間の日程で行われ、豪華な山車(やま)が町内を駆け巡り、町民は我を忘れて熱狂します。江戸から明治にかけ、ニシン漁で栄えた江差町。豊漁を祈念して行われる祭りに参加しようと、都会から帰省して来る人がたくさんいます。江差人の精神を育てる大切な祭りです。

文化が栄えるところには、それを支える職人たちでにぎわいます。当クラブは、歴史文化あふれる檜山の地で、地道な活動に取り組む優れた職人や経営者たちを表彰する活動に取り組んできました。「職業奉仕」の一環として長年、仕事を通じて地域を支える、きらりと光る人材に対して表彰を贈り、会員らと食事をしながら交流を深めます。1989年に民芸金具の職人から始まった表彰はこれまでに、追分人形職人、姥神祭りの山車を専門につくる職人、漆塗り職人など多彩な人々にスポットを当ててきました。該当者なしの年もあったものの、これまでに計23人を表彰しています。表彰した職人さんからは「自分の活躍が認められてうれしい」「長年の取り組みを評価してもらった」と喜びの声が上がります。地元では当たり前とされていることに光を当てることで自身が気がつかなかった魅力の再発見につながります。

直近でいえば、2016年に町内の木工職人、及川繁治さん、17年に江差町の高級温泉旅館「旅庭(りよてい)群来(くき)」を運営する棚田清さんを表彰しました。及川さんは18歳から建具の関作に取り組み、80のよわいをこえてもなお、精力的に活動しています。棚田さんは江差を代表する高級旅館を営んでおり、心休まるもてなしを提供して町内外から高い評価を受けています。

今年は、「檜山」という名前の由来とされるヒノキアスナロ(ヒバ)林の再生に尽力した江差の北海道指導林家、坂野正義さんを表彰しました。坂野さんは営林署や町の森林指導員として活躍。減少を続けるヒバの現状を目の当たり

にし、その再生に取り組もうと、地域に適した挿し木による育苗技術を生み出しました。83歳の坂野さんは今も江差の森で行われる植樹祭に参加しています。力強い足腰で山を登り、子どもたちに植樹の方法や山林を守る大切さを訴えるその目つきは、衰えることを知りません。坂野さんを見ていると、自身の人生を賭して励む諸先輩をたたえる活動を続けられていることをうれしく思います。

坂野さんの表彰は、前述の「旅庭(りよてい)群来(くき)」で行いました。小笠原隆職業奉仕委員長(五勝手屋本舗社長)の挨拶の後、坂野さんのヒバ論を聴講しながら、みんなでおいしい料理を囲みました。群来の料理は地産地消にこだわり、自家農場の「拓美ファーム」で育った活きの良い綿羊(サフォーク)や北海叱径色、有機栽培の野菜を存分に満喫できます。檜山の浜に上がったエビの刺し身もまた、何度も食したくなる絶品です。

「江差の5月は江戸にもない」。かつてそう呼ばれた町も、人口減少や少子高齢化の影響で、商売を続ける環境が一段と厳しいことには違いありません。それでも、江差には先代から受け継がれた職人たちによる伝統と精神があります。それらを絶やすことのないよう、私たちにできることをささやかながらも続けていきます。これからの江差は姥神祭りや江差追分全国大会のイベントが控えており、活気あふれる季節を迎えます。立ち寄っていただいた際は、どうぞ当クラブにご連絡をください。できる限りのおもてなしをさせていただきます。

新会員のご紹介

(敬称略)



砂川RC
山内 勝人
1月1日入会
空調配管工事



砂川RC
西川 公平
1月1日入会
浄土真宗本願寺派住職



室蘭北RC
斉藤 聡
4月16日入会
管工事業



岩見沢RC
前田 正樹
4月25日入会
シティホテル



千歳RC
高橋 啓也
4月25日入会
小型貨物運輸



千歳RC
小野田 禎久
4月25日入会
ガス工業



江別RC
村上 哲弘
5月9日入会
病院事務



滝川RC
木村 聡
5月9日入会
金融業



滝川RC
岡崎 慎二
5月9日入会
電力業



札幌モーニングRC
原田 哲也
5月15日入会
不動産売買



苫小牧RC
道面 博
5月17日入会
生命保険



岩見沢RC
小林 雅哉
5月23日入会
損害保険業



苫小牧RC
鈴木 秀夫
5月24日入会
地方銀行

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈り致します



岩見沢RC
玉田 忠さん 2019年4月17日 ご逝去 (享年76歳)

【ロータリー歴】 2002年 入会
2005年-2006年 会員選考副委員長
2008年-2009年 国際奉仕副委員長

【表彰】 ポール・ハリス・フェロー
米山功労者(1)

米山奨学生の紹介 YONEYAMA SCHOLARSHIP



日本での生活

張 婷(チョウ テイ)
(中国)

北海道教育大学・札幌はまなすRC

私は大学の時に瀋陽師範大学で日本語を専攻して、日本語の先生から日本の文化、文学、歴史と地理などを色々勉強しました。教科書に映しだされた日本の景色を見て、なんと綺麗なところだと思いました。その時からずっと日本に行って、自分の目でこの美しいところを感じたいと思っていました。2017年によく機会があり、留学のために北海道に参りました。

日本に来てから、もう一年半になりました。この間に、雪国の景色より北海道の道民の皆さんの優しさに感動しました。学校でも、バイト先でも、みんな優しく色々教えてくれました。国籍を問わず、みんな一緒に楽しく勉強し

て、仕事するのは何よりです。

今は北海道教育大学の院生二年生です。研究課題は「ジョンソン政権におけるベトナム戦争政策の展開——トンキン湾事件をめぐる疑惑と真実」です。最近は必死に論文を書いています。二年生の後半に米山奨学生になり、本当に感謝しております。このお陰で研究に専念できて、大変助かっています。それに、このクラブから頂いたのはお金だけではなく、色々な業界の立派な先輩たちと交流できるのは大変嬉しいです。これから、日本の会社に就職して、立派なロータリーアンに成長できることを目指します。

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

江別RC	吉田 欣司	会員	(2回)	4月24日
札幌西RC	石丸修太郎	会員	(7回)	4月10日
苫小牧北RC	矢部 繁	会員	(8回)	4月23日

米山功労クラブ

札幌手稲RC	(29回)	4月9日
--------	-------	------

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

滝川RC	藤井 謙和	会員	(2回)	4月25日	室蘭東RC	橋本 昭道	会員	(1回)	4月25日
滝川RC	川原 弘嗣	会員	(2回)	4月25日	室蘭東RC	小林 進	会員	(1回)	4月25日
滝川RC	武田 邦彦	会員	(2回)	4月25日	室蘭東RC	黒田 秀雄	会員	(2回)	4月25日
江別RC	郷 和平	会員	(6回)	4月24日	室蘭東RC	村木 一夫	会員	(2回)	4月25日
当別RC	六角 英一	会員	(1回)	4月19日					
札幌北RC	藤城 英明	会員	(3回)	4月12日	ポール・ハリス・フェロー				
札幌北RC	桶川 昌幸	会員	(3回)	4月12日	滝川RC	佐伯 敏和	会員		4月25日
札幌北RC	嶋田 久昭	会員	(3回)	4月12日	札幌幌南RC	酒井 正	会員		4月26日
札幌幌南RC	綱干 要	会員	(5回)	4月26日	室蘭東RC	井上 幸司	会員		4月25日
長沼RC	池内 昌之	会員	(2回)	4月 9日	室蘭東RC	増川 拓	会員		4月25日



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

2019.5.13

Vol. 230

台湾の学友、荣誉ある賞に輝く



【日経アジア賞】



台湾海洋大学終身教授の廖一久さん(1965-68/田原RC)が、第24回日経アジア賞(科学技術部門)を受賞しました。同賞は、日本経済新聞社が新聞創刊120周年を記念して1996年に創設したもので、経済、科学技術、文化・社会の3部門でアジアの発展と繁栄に貢献した人々をたたえる目的で、

各部門1人または1団体を毎年表彰。今回で24回目となります。

「エビ養殖の父」として知られる廖さんは、平成26年度外国人叙勲において旭日中綬章を受章。最近のニュースとして、台湾の「廖一久院士之友會」(廖一久院士の友の会)では、博物館を設立、その建設費を募集中とのことです。

今回の表彰式は、来る5月29日に東京の帝国ホテルにて行われます。

栄えある受賞、おめでとうございます!

廖一久さんからのメッセージ

今回、第24回日経アジア賞・科学技術部門に選ばれたことは、私が貴国に留学し、学んだ科学技術を母国台湾の水産養殖産業に貢献したこと、およびアジア各国に息長く大きな貢献を続けている点が強調されたことだと思います。留学中、米山奨学生に選ばれたことが大きな契機だと思います。2018年、ロータリー米山記念奨学会財団設立50周年記念式典にて、19,808人(当時)の米山学友代表としてご挨拶させていただいたことも大事なことだと思います。私の成長段階において多くの恩師のご鞭撻、友人達および米山の皆様の励ましを忘れることは出来ません。そして今日まで私を育て、暖かく見守ってくれた両親、家族、親戚に、心から感謝いたします。



【経済省国家産業革新賞(台湾)】

台湾・経済省による第6回国家産業革新賞(原文: 國家産業創新獎)の授賞式が4月10日に行われ、国立政治大学商学研究科の教授を務める米山学友、呉安妮さん(東京三鷹RC)が女性賞を受賞、陳建仁副総統からトロフィーが授与されました。

同賞は台湾産業界のオスカーとして知られ、産業界に甚大な貢献をした者に贈られる最高の荣誉です。呉さんは33年にわたって新管理会計システム「AVM(Activity Value Management)」の理論研究と

実践検証を重ね、台湾における新管理会計制度を開発。このAVMを導入し、呉さんがコンサルティングをした企業では収益が大幅にアップしているとのことです。呉さんは、台湾米山学友会の推薦で来日し(海外学友会推薦奨学金: SY-A奨学金)、2003年7月から翌年2月末まで一橋大学で研究活動を行う期間、米山奨学生となりました。「台湾に経済的奇跡を起こしたい。AVMでより多くの台湾企業を助け、人材を育て、国に貢献したい」と、呉さんは語っています。

寄付金速報 — 残り2カ月、さらなる支援を —

4月までの寄付金は前年同期と比べて2.1%減(普通寄付金:0.5%減、特別寄付金:2.9%減)約2,650万円の減少となりました。

10連休という長いGWを控えた影響もあつてか、前月よりも減少幅が広がり、また、直近5年間の同期累計平均額と比較しても、今月の累計額は約230万円下回る結果となりました。

今年度も残すところ2カ月。ロータリアンの皆様の変わらぬご支援に、厚く御礼申し上げます。なお、今年度(半期ごとの納入クラブは後期分)の普通寄付金をまだ送金していないクラブがありましたら、お早目にお送り下さいますようお願い申し上げます。

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター 2019年6月号

NEWS

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

第3ゾーンでは2018年11月から19年3月にかけて、GETS・国際協議会ご参加のお忙しい中、ガバナーエレクトの皆様方に「現在の地区の“地区・クラブの戦略計画委員会(ビジョン委員会)の設置状況”“地区・クラブの戦略計画(ビジョン)立案状況”などについてのアンケート調査を行いました。その概要については4月のRIZ1・2・3ゾーン会員基盤向上セミナーでお話を致したところでした。地区戦略計画委員会は、Z3内の11地区中10地区が既に設置されています。未だの1地区についても現在設立に向け検討を重ねているようです。設立している

10地区のうち8地区が活動を開始している、ことです。

クラブ戦略計画委員会につきましても、9地区からデータをお寄せ戴きました。最も多い地区では88%のクラブが委員会を設けています。60%台が2地区、30～40%台が3地区、20%台が2地区、0%が1地区、不明が2地区でした。地区ビジョン(地区中長期計画)を策定している地区は11地区中6地区、検討中が2地区、未決定が3地区あります。クラブに中長期計画を策定して戴くためにも地区が率先して手本を示す必要があるでしょう。

クラブビジョン(中長期計画)を策定している地区内クラブの76%を筆頭に、58、55、38%が2地区、33、30、20、0%という結果でした。未確認が2地区ございました。各地区が65～70%台に乗せて戴くように希望を致します。

クラブに明確な目標があれば活動計画や方向性を決めることができると考えます。目標策定のためには、これまでの活動状況、会員の関心、目標達成に必要な人材や資金を検討する必要があります。そのためには「クラブの強み」「クラブの弱点」などの内部調査が必要でしょう。それに加えクラブを取り巻く状況、或いは奉仕活動の受益者の調査などの外部因子の調査も必要でしょう。それにより地区・クラブの3～5年後に向けた目標・ビジョンが設定できるのです。そして、ビジョン策定後においては、定期的な検証をする事を決して忘れないことです。検証がないとこのビジョンは頓挫する可能性が十分に考えられます。ビジョン=戦略計画があるクラブは、会員の満足度が高く、ロータリーに対する思い入れも強く、それがより高い会員維持率に繋がるとも言われています。自らの地区、自らのクラブが未来に向け発展し続けるために自らの背丈に合ったビジョンを策定し、それに向け会員一同が結束されることをお願い申し上げます。

第3ゾーンロータリーコーディネーター高島凱夫(大阪中之島RC)

変化を受け入れる

RI理事会は2017年6月新しいビジョンを採択し、2018年6月の理事会と管理委員会において、新しい戦略計画を承認されました。この計画は2019年7月1日からスタートします。RI会長のテーマは2017-18年度イアンH・S・ライズリー会長の「ロータリー:変化をもたらす」、2018-19年度バリー・ラシン会長の「インスピレーションになろう」、そして、2019-20年マーク・ダニエル・マローニー会長の「ロータリーは世界をつなぐ」となっています。それぞれの会長年度において、新しいビジョンに向けてRI戦略計画を推進されていることがわかります。新しい戦略計画の柱は、ロータリーをさらに明るい未来へ導くために革新性と柔軟性を駆使することです。ロータリーは年々変化しながら発展しつつあります。地区やクラブにおける戦略計画の進捗状況はどうでしょうか。

ロータリー公共イメージコーディネーターの目的は、ロータリー内外でロータリアンを「世界を変える行動人」として描き出す影響力の強いストーリーを特定し、効果的に発信する能力をクラブと地区が強化するのを援助することで、ロータリー戦略計画を積極的に促進することです。革新性には、変革を起こすテクノロジーもあります。これからのロータリーにはICTやネットワークの広がりが必要不可欠ものになります。そのために、MyRotaryのロータリークラブ・セントラルやブランドリソースセンター、ラーニングセンターなどの充実が図られていますが、My Rotaryへの登録率の低迷は重要な課題となります。

ロータリーの会員がロータリーやクラブについてどう語るかによって、ロータリーとその活動や基本理念に対する市民の認識が形づくられます。しっかりとした公共イメージが築かれれば、地域社会や世界の課題に果敢に取り組む「行動人」としてのロータリアンとしての姿を、全世界に一貫したかたちで、地域社会に知ってもらうことができます。

これからは、ロータリーの公共イメージを向上させるために、クラブがマスメディアや広報などを利用してロータリーの奉仕プロジェクトのストーリーを地域の市民に「世界を変える行動人」として伝えることが大切です。また、ソーシャルメディアやMy Rotaryのロータリーショーケースなどを活用することによって、「ロータリーは世界をつなぐ」を実現することになります。

次期第3ゾーンロータリー公共イメージコーディネーター山下皓三(鹿児島西RC)

財団室NEWS 6月号

【年次基金寄付ゼロクラブ】

地区内への継続的なお声かけにより、11地区（2520・2570・2590・2630・2640・2650・2660・2680・2790・2820・2830）が寄付ゼロクラブゼロになる目標を達成されました。ご協力いただきありがとうございます！

今年度も残り1か月となりました。ご自身の地区の寄付ゼロクラブがなくなるように最後までお声かけいただけましたら幸いです。

地区別年次基金寄付ゼロクラブ数 2019年5月24日現在

地区	クラブ数	地区	クラブ数	地区	クラブ数
2500	2	2620	6	2750	1
2510	15	2670	1	2760	1
2530	6	2690	2	2770	3
2540	5	2700	1	2780	2
2550	4	2710	1	2800	1
2560	1	2720	3	2840	6
2580	2	2730	13	合計	87
2600	1	2740	4		
2610	6				

- 年次基金へのご寄付がなくても、他の寄付分類にご寄付くださっているクラブもあるため、ご連絡の際はご注意ください。
- 地区内クラブの年次基金寄付の状況は、月次寄付レポートで確認できます。通常、ご寄付から約2週間後にレポートへ反映されます。
 <My ROTARY→ 運営する→ 各種レポート→ クラブ/地区に関するレポート→ 寄付&認証→ レポートを見る→ 「月次寄付レポート」>

【クラブのバナー認証】

クラブのバナー認証には寄付に関する達成条件があります。年度内のご寄付が対象となるため、達成状況のご確認はお早めをお願いいたします。

〈バナーの種類〉

- 100「Every Rotarian, Every Year」クラブ
- 100% ロータリー財団寄付クラブ
- 100% ポール・ハリス・ソサエティクラブ
- 年次基金への一人当たりの寄付額上位3クラブ
 〈感謝状〉End Polio Now感謝状

〈状況確認のためのレポート〉

- クラブのバナー認証状況レポート: クラブ、地区が閲覧可能
- クラブのバナー認証レポート: 地区が閲覧可能
- ポリオプラスに関するレポート: クラブ、地区が閲覧可能

【ロータリークラブ・セントラル】

「ロータリークラブ・セントラル」では、クラブの寄付の目標と実績を確認することができます。実績は自動的に反映されるようになっており、目標を設定すると、寄付や認証の実績が自動的に反映されます。

目標達成までの進捗を随時確認できる便利なツールなので、ぜひご活用ください。

〈My ROTARYにログイン→ 運営する→ ロータリークラブ・セントラル〉

【寄付の締め切り】

年度内のご寄付は、2019年6月28日(金)までに着金、寄付送金明細書が日本事務局に到着している必要があります。送っていただいた寄付送金明細書の内容に不備があり、寄付者やクラブの担当者へ確認が取れない場合は、手続きが完了せず次年度のご寄付となる可能性もございますのでご注意ください。なお、オンライン寄付は6月30日(日)までのご寄付が年度内の寄付になりますが、早めのご対応をお願いいたします。

【国際ロータリー本部からのレート変更のお知らせ】

2019年7月1日より、ロータリーの為替レートは各月初日の市場実勢相場に基づくこととなります。このため、事前にロータリー為替レートをお送りできなくなることをご了承ください。従来の手続きからの変更となりますが、世界中の会員にとって最も正確なレートをご提供する最善の方法であると当方では考えております。ご理解をよろしくお願いいたします。

【ドル口座閉鎖のお知らせ】

これまでドル紙幣によるご寄付の受入れを提供して参りましたが、ご利用状況を鑑みた結果、2019年6月30日をもってUSドル口座を閉鎖させていただきます。今までご利用いただきました皆さまに厚くお礼申し上げます。

ご不明な点などがございましたら、国際ロータリー日本事務局経理室 (Tel:03-5439-5803) までお問い合わせください。

ロータリー探訪



大切な奉仕理念

第2510地区職業奉仕委員長

玉井 清 治

(函館亀田RC)

地区職業奉仕セミナーが5月11日(土)札幌パークホテルにて22クラブ23名様のご参加にて開催されました。

3時間のプログラムで、前半は、塚原房樹パストガバナーによる「職業奉仕の未来 資本主義のルールが変わるとき」と題し、ネット革命により暴走する資本主義の実態や未来の人工知能(AI)の進化により衰退する職業など、経営者として将来どのように向き合って生きて行くべきかを考えさせられる内容でした。また、正しいロータリー運動と誤ったロータリー運動、経営者である以前に人間であるという職業倫理の重要性や、ベーシックインカムとロータリーの将来を考え、原点を振り返り、「AI時代が来ても私たちロータリーは益々その存在価値を高めてゆかねばならない」と強調され、締めくくられました。参加者皆様は真剣な表情で1時間の貴重な講演を拝聴させていただきました。

後半は「テーマ別自由討論会」とし、私の司会でロータリーに対する想いや疑問点等、参加者皆様とトコトン話し合いました。「ロータリーのブランドとは」「Serviceの考え方と奉仕の違い」「四つのテストの原文と、その翻訳」など討論されましたが、特に印象的だったのが「子ども食堂」の現状と課題を議論し、ロータリーとしての「奉仕の方法」を熱く語り合ったことでした。

また、今回は地区外(埼玉・新潟)から職業奉仕に精通されておられる2名様を来賓としてお招きし、ご発言いただきグローバルな職業奉仕理念も皆様に感じていただけたことと思っております。

お忙しいなか、職業奉仕理念の重要性を熱い想いでご参加いただきました皆様!本当にありがとうございました。

〈ご参加いただきました皆様〉

新潟RC 小山楯夫様	本庄南RC 浅田進様	札幌東RC 塚原房樹様	札幌手稲RC 福井敬悟様
滝川RC 入井浩樹様	美唄RC 大坪誠治様	江別西RC 白旗隆夫様	岩見沢RC 谷口秀治様
札幌RC 武部幸紀様	札幌モーニングRC 大西正啓様	札幌西RC 森谷明弘様	
札幌南RC 舟本秀男様	札幌南RC 山上晃広様	千歳RC 稲川和伸様	伊達RC 平口泰章様
室蘭北RC 菅原義男様	登別RC 鈴木高士様	函館RC 大槻継也様	長万部RC 赤塚章様
函館五稜郭RC 塚田寛様	函館東RC 吉川達也様	白老RC 山田和子様	



ロータリーにしかない職業奉仕理念と実践の双方を大切に守りながら、生涯学習の場としてロータリー・ライフを楽しんでいきたいものです。

最期に、2年間ガバナー月信にて大切な1ページのコラム掲載を許可していただきました国立金助直前ガバナー、小山司ガバナー、毎回毎回アドバイスご指導いただきました塚原パストガバナー、校正を何度も快く受けていただきましたガバナー事務所の寺島さん、そして激励いただきました各クラブの皆様にも甚深の感謝と敬意を表し、仰ぎ見ております。またいつか皆様と誌面でお会いできますこと、切に願い楽しみにいたしております。

ありがとうございました。

【ガバナー事務所メールアドレス変更のお知らせ】

2019年7月1日よりガバナー事務所のアドレスが下記に変更になります。

現：rid2510@nifty.com → 新：rid2510@pxva.ne.jp

お手数をお掛けしますが、何卒よろしく御願ひ致します。

【新事務所住所の訂正のお知らせ】

標記の件について、過日新住所をお知らせしましたが誠に恐れ入りますが下記の通り訂正をお願いいたします。

誤り住所 〒074-0004

深川市4条8番40号

深川市民交流センター3階

TEL・FAX：0164-34-6228



訂正住所 〒074-0004

深川市4条9番40号

深川市地域交流施設プラザ深川3階

TEL・FAX：0164-34-6228

地区カレンダー（6月）

6月 ローターリー親睦活動月間

1 (土)	国際大会 (ドイツ：ハンブルグ) ~5日	16 (日)	現新地区委員・ガバナー補佐合同引継ぎ会議 (札幌)
2 (日)		17 (月)	
3 (月)		18 (火)	
4 (火)		19 (水)	
5 (水)		20 (木)	
6 (木)		21 (金)	
7 (金)		22 (土)	第2回財団学友総会および財団奨学生壮行会 (札幌)
8 (土)	RLIセミナー パートI (札幌)	23 (日)	
9 (日)		24 (月)	
10 (月)		25 (火)	
11 (火)		26 (水)	
12 (水)		27 (木)	
13 (木)		28 (金)	
14 (金)		29 (土)	
15 (土)		30 (日)	ローターアクト第46回地区大会 (赤平)

2019年6月のローターリーレート

1ドル 110円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2018.7.1	2019.4.30	増減	内女性	
1	深 川	4	33	32	-1	1	87.10
	羽 幌	3	46	45	-1	2	62.96
	妹背牛	2	7	7	0	0	71.42
	留 萌	4	33	35	2	3	68.12
	小 計		119	119	0	6	72.40
2	赤 平	4	27	27	0	2	67.42
	芦 別	3	31	30	-1	2	71.43
	砂 川	4	40	41	1	1	89.60
	滝 川	4	93	94	1	4	72.00
	小 計		191	192	1	9	75.11
3	美 唄	4	26	27	1	0	84.90
	江 別	4	32	33	1	1	82.03
	江 別 西	4	30	32	2	4	83.50
	岩 見 沢	4	74	86	12	0	89.57
	岩見沢東	3	17	17	0	2	79.53
	栗 沢	3	19	18	-1	1	97.60
	栗 山	3	25	27	2	5	75.63
	当 別	3	27	29	2	0	77.67
	小 計		250	269	19	13	83.80
4	札 幌	4	121	124	3	2	98.94
	札幌はまなす	4	16	18	2	2	72.00
	札 幌 北	4	40	45	5	5	77.62
	札幌モーニング	3	34	33	-1	0	77.16
	札 幌 西	4	50	50	0	9	81.22
	札幌西北	4	34	33	-1	3	81.60
	札幌手稲	3	37	40	3	4	82.22
	小 計		332	343	11	25	81.54
5	札 幌 東	4	125	121	-4	0	96.80
	札幌清田	3	13	13	0	4	100.00
	札幌幌南	4	66	56	-10	3	98.10
	札幌真駒内	3	23	24	1	6	100.00
	札 幌 南	3	88	93	5	2	98.77
	札幌大通公園	2	14	14	0	4	71.42
	札幌ライラック	2		20		6	85.00
	新 札 幌	3	25	29	4	5	85.56
小 計		354	370	16	30	91.96	
6	岩 内	3	20	20	0	1	95.00
	倶 知 安	3	36	34	-2	3	65.00
	小 樽	4	71	75	4	5	84.51
	小 樽 南	4	65	66	1	4	88.78
	小樽銭函	3	22	24	2	1	80.00
	蘭 越	4	9	9	0	0	100.00
	余 市	4	43	42	-1	5	86.60
	小 計		266	270	4	19	85.70

会 員 増 減 数 ・ 4 月 出 席 率 ・	クラブ数	70クラブ
	期首会員数	2,544人
	当月末会員数(女性)	2,624人(173人)
	増加会員数	80人
	当月平均出席率	80.98%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2018.7.1	2019.4.30	増減	内女性	
7	千 歳	2	69	77	8	9	81.50
	千歳セントラル	4	39	43	4	9	82.56
	恵 庭	4	49	52	3	3	73.45
	北 広 島	4	16	16	0	0	81.66
	長 沼	4	17	16	-1	3	65.63
	由 仁	2	7	8	1	1	100.00
	小 計		197	212	15	25	80.80
8	え り も	2	17	21	4	1	100.00
	三 石	4	13	12	-1	0	85.00
	様 似	3	17	17	0	1	69.61
	静 内	4	72	70	-2	4	83.50
	浦 河	4	26	28	2	3	85.71
	小 計		145	148	3	9	84.76
	9	伊 達	4	64	64	0	1
室 蘭		4	32	31	-1	2	78.22
室 蘭 東		3	34	38	4	3	60.50
室 蘭 北		4	46	49	3	2	71.51
登 別		4	25	25	0	1	76.00
洞 爺 湖		2	9	9	0	0	100.00
小 計			210	216	6	9	77.95
10	函 館	4	76	79	3	1	78.68
	函館亀田	4	43	42	-1	4	72.56
	森	3	35	34	-1	0	72.60
	七 飯	4	12	12	0	0	68.75
	長 万 部	2	10	11	1	0	72.70
	函館セントラル	4	23	25	2	2	78.79
	小 計		199	203	4	7	74.01
11	江 差	2	10	10	0	1	60.00
	函館五稜郭	4	54	55	1	0	75.74
	函 館 東	4	45	43	-2	8	73.22
	函 館 北	3	16	19	3	0	83.92
	北 斗	3	12	12	0	0	52.80
	小 計		137	139	2	9	69.14
12	白 老	4	30	30	0	3	76.30
	苦小牧	4	59	59	0	3	82.64
	苦小牧東	4	27	26	-1	4	85.58
	苦小牧北	4	28	28	0	2	91.53
	小 計		144	143	-1	12	89.64
合 計		2,544	2,624	80	173	80.98	

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数11名(内女性会員0名)を含む



表紙写真

札幌市 札幌市中央区 大倉山ジャンプ競技場のラベンダー・ガーデン

撮影者：野口観光ホテルプロフェッショナル学院・

北海道文教大学外国語学部国際言語学科 講師 今野哲郎

Rotary
District2510

